

取り組み事例紹介① ICTを活用した環境整備

教材資源を調査して活用



眠っているお宝発見！みんなが使えるように見える化しよう

配置図をクリックすれば、どこに何があるかすぐにわかるよ。

情報管理(見える化)

- ・ICTが簡単に使える環境整備
- ・職員研修でのサポート

現状把握・調査
活用できていないタブレットを発見

「いいね！」先生の声

- ・タブレットを使用することで、どこにいても情報共有が出来るようになった。
- ・自ら学ぼうとする子どもが増えた。
- ・教材作りが簡単になって、ゆとりが出た。

教育目標の達成

- ・子どもの学習意欲が高まった
- ・学力向上につながった
- ・教員の資質向上
- ・業務改善

活用

- ・タブレット端末を活用した授業が増えた
- ・電子黒板を使用した授業もできるよ



取り組み事例紹介② 校内研修・教材評価を通じた教材選定の精査



子どもが安心して学べるように考えたんじょ！

意識改革

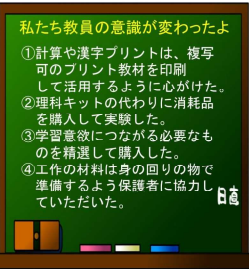
- ・「子どもの貧困」について
- ・教育費の公費私費の区別
- ・「前年どおり」は選定の基準じゃない
- ・安易に「集金」に頼らない

現状分析

- ・1学期の使用教材等についての評価
 - ☆教材の有効性、必要性等
 - ☆経費負担の妥当性、個人所有の必要性
- ・学校側が意識改革することで、保護者負担を軽減する手立ではないか考察

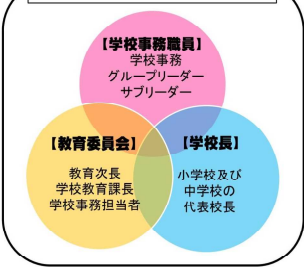
行動変容

- ・補助金対象教材の見直し
- ・個人所有の必要性がなく、数年使えるものは公費購入を検討
- ・少しの手間で代用できる物はないか
- ・安易にキットに頼らず、材料を購入



取り組み事例紹介③ 保護者向け事務だよりの発行

※三好市学校事務推進協議会



※協議会の会長(教育次長)が招集し、学校の課題を解決するための学校事務業務について、話し合う場を設けています。学校管理規則の改正や各種補助金事務等について協議しよるんじょ！



保護者もチーム情報共有を！

- ・学校事務職員について
- ・学校支援ボランティアの募集
- ・給食費の負担について
- ・教科書の価格
- ・持ち上りが教科書について



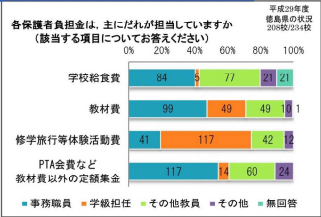
・保護者と学校を繋ぐ
・社会に開かれた学校づくり
・教育情報等の提供

こんな効果があるんやって！

1. 保護者と学校を繋ぐ
 - ・教育費についての理解促進
 - ・集金遅延の解消
 - ・各種事業の案内
 - ・正確な情報提供
2. 教職員へのアプローチ
 - ・事務職員と保護者同士の直接のやりとりによる負担軽減
 - ・保護者負担軽減に向けての協働



取り組み事例紹介④ 集金事務のシステム化



専門的な分析と方法へソフトチェンジ！

- ①学校教育にかかる予算を公費+私費のトータルで考え、無駄を省く！
- ②保護者負担軽減
- ③計画的な教育課程の推進と教材選択の整合性
- ④口座振替制度の導入

学校での感想

- ・空き時間が子どものために使えて助かった！
- ・集金事務は通知表作成より大変だった！
- ・会計がより明確になり、説明責任上有効だ！



事務グループでノウハウ共有ソフト共有
学校で会計部門として対応業務改善と危機管理

※集金業務を事務職員が担当することで、教員の余力を生み出します。